

ふるさと茨木、再発見!

新作狂言「茨木童子2014」

IRABAKI-DONN RETURNS

茨木童子が帰ってくる!

鬼のはなしを聞こうぞよ
鬼のはなしを聞こうぞよ



◆公演

平成26年10月19日(日) ①12:30 / ②15:30
真宗大谷派 茨木別院本堂

◆お練り=10月18日(土)

◆体験講座= 9月14日(日) / 9月28日(日)
10月5日(日) / 10月13日(祝)

大阪府芸術文化振興事業



大阪府文化振興基金
Osaka Prefectural Fund
for The Enhancement
of Cultural Activities

◆演目

解説 茂山千三郎(大蔵流狂言師)／橋本裕之(追手門学院大学地域文化創造機構特別教授)

狂言「蝸牛」(かぎゅう)

新作狂言「茨木童子 2014」 作・演出:茂山千三郎／監修・考証:橋本裕之

◆出演

茂山七五三 茂山千三郎 茂山童司 丸石やすし 松本 薫 井口竜也 鈴木 実 茨木の子どもたち

◆作・演出

茂山千三郎(しげやま・せんざぶろう)

1964年9月4日、十二世茂山千五郎の三男として生まれる。自主公演の花形狂言会やTOPPA!を主宰し、古典狂言の魅力をアピールする。その反面、FM京都のパーソナリティを14年勤め、京都市交響楽団や立川志の輔、夏川りみ、鯨内佐斗司らともコラボし、古典の枠にとらわれない活動を展開。『だんご舞』、『都わたり』など、新作狂言の脚本も手掛け、中でも『流れ星-X』は愛・地球博その他で発表し、各地エコロジー団体より上演の要請を受ける。近年では團伊玖磨作曲のオペラ『ちゃんちき』を演出し、UFJ信託銀行奨励賞受賞。著書に集英社新書『世にもおもしろい狂言』がある。

◆監修・考証



橋本裕之(はしもと・ひろゆき)

早稲田大学大学院文学研究科博士課程芸術学(演劇)専攻中退。博士(文学)。千葉大学文学部教授、盛岡大学文学部教授などを経て、現在、追手門学院大学地域文化創造機構特別教授・社会学部教授。専攻は民俗学・演劇学。著書に『演技の精神史—中世芸能の言説と身体』(岩波書店)、『心をそだてる子ども歳時記12か月』(講談社)、『舞台の上の文化—まつり・民俗芸能・博物館』(追手門学院大学出版会)など多数。2005年のNHK大河ドラマ『義経』の芸能考証を担当した。千葉大学に在籍していた当時から、新作狂言『新千葉笑い』などの監修・考証を担当している。

◆作品あらすじ

蝸牛(かぎゅう)

出羽の羽黒山から出た山伏が、大和の葛城山で修行を終えての帰り道、竹やぶの中でひと寝入りしていると、主人の言いつけで、長寿の薬になるという蝸牛(カタツムリ)を探しにきた太郎冠者と出くわします。「竹藪には必ずいるものだ」と教えられて来た太郎冠者は、黒い兜巾(とぎん)をいただいた山伏を見つけ、すっかり山伏がカタツムリだと信じ、主人のところへ連れて帰ろうとします。山伏と浮かれているところに、帰りが遅い太郎冠者を心配した主人が、太郎冠者を見つけて「あれは、カタツムリではなく、山伏で売僧(まいす)だ!」と注意するのですが……

新作狂言「茨木童子 2014」(いばらきどうじ)

子ども達と楽しく歌い舞う茨木童子は、自分の昔を話しながら子ども達に教えを説く、今は良い鬼となりました。また、このまちに茂山童司という親の言うことを聞かない横暴な少年がおり、爪を切れと言われても「いや」、顔を洗えと言われても「いや」、仕事を手伝えと言われても「いや」、と何一つ言うことを聞かず、茨木童子が来て痛い目に合わすぞと言われれば、「わしは茂山童司じゃ。茨木、茂山、木と山ではどちらが大きい?山ではないか。茂山童司は茨木童子より強い!」と屁理屈を吐く始末。困った親は茨木童子に助けを求めると、茨木童子は恐い鬼の姿で叱りに来るのですが……

◆日時

平成26年10月19日(日) 1回目=12:30開演(12:00開場)／2回目=15:30開演(15:00開場) *各回定員150人

◆会場

真宗大谷派 茨木別院本堂(茨木市別院町3-31/阪急茨木市駅から西へ徒歩3分/駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。)

◆チケット

一般 3,000円 / 65歳以上、障害者及びその介助者は 2,500円 / 青少年(24歳以下)は 1,000円

*茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKA メセナカード各会員は10%引き。各会員割引の取り扱いには文化振興財団窓口のみです。

*全席自由(整理番号付チケット)。整理番号順の入場となります。整理番号は、窓口での発券順に付番されます。

*高低2種の椅子席です。

*就学前のお子様はご遠慮ください。

◆発売日

7月3日(木)9:00 インターネット・電話予約開始

*財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。残席がある場合は翌日から窓口販売いたします。

◆チケットのお申込み・お問合せ

(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係072-625-3055(ユアアイホール1階9:00~17:00)

インターネットチケット www.ibabun.jp

*予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売は発売翌日からです。

●ユアアイホールチケットカウンター9:00~17:00(8/23~8/25は臨時休館) ●クリエイティブセンターチケットカウンター9:00~17:00(8/23~8/24は臨時休館)

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、〈チケット料金+郵送手数料400円〉を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。

手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。(払込口座)00970-7-190576/加入者名:茨木市文化振興財団

◆その他の販売所(7月3日店頭販売有り10:00~)

ローソンチケット0570-000-777/Lコード予約0570-084-005(Lコード53180) *ローソン各店舗で購入できます。



茂山七五三



茂山千三郎



茂山童司



丸石やすし



松本 薫



井口竜也



鈴木 実



「子どものための狂言体験講座と子役オーディション」参加者募集

感受性豊かな子どもたちと伝統芸能との出会い。「狂言」を通じて、日本の伝統を身近に感じてもらうための体験講座です。

- ◆対象・定員 小学1年～4年の児童40人。保護者同伴でご参加ください。
- ◆講師 大蔵流狂言師 茂山千三郎・鈴木 実
- ◆開講日時 ①9月14日(日)16:00～18:00 ②9月28日(日)16:00～18:00 ③10月5日(日)18:00～20:00 ④10月13日(月祝)18:00～20:00
- ◆開講場所 茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)2階・多目的ホール
- ◆受講料 無料
- ◆準備物 動きやすい服装で、靴下または足袋を着用してご参加ください。
- ◆お申込み (公財)茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055(市民会館ユーアイホール1階 9:00～17:00)
7月3日(木)9:00から先着順に受け付けます。(電話またはご来館)

◆備考
受講者の中から、新作狂言「茨木童子 2014」(10月19日実施)に子ども役として出演いただく児童4人を選抜いたします。選考は、作・演出の茂山千三郎が行います。出演予定日程は以下のとおりです。

10月18日(土)12:00～15:00「お練り」(茨木市市民会館～茨木別院～茨木市市民会館)、「お練り」終了後、茨木別院でリハーサル。

10月19日(日)午前＝リハーサル/12:30～14:00 1回目公演/15:30～17:00 2回目公演(茨木別院本堂)

「お練り」参加者募集

新作狂言「茨木童子 2014」の開催を祝し、鬼の仮装で練り歩きます。個人、団体、ご家族でご参加ください!

- ◆実施日時 10月18日(土)13:00～15:00頃
- ◆集合・解散 茨木市市民会館(ユーアイホール)大ホール 12:30受付開始/15:00終了予定
- ◆予定経路 茨木市市民会館→高橋→茨木神社→茨木阪急本通商店街→茨木にぎわい亭→阪急茨木市駅前→茨木別院→市民会館
- ◆対象・定員 「鬼」の仮装・メイク等をさせていただくことにより、どなたでもご参加いただけます。申し込み先着100人。
- ◆お申込み (公財)茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055(市民会館ユーアイホール1階 9:00～17:00)
7月3日(木)9:00から先着順に受け付けます。(電話またはご来館)
- ◆費用 参加費無料。ただし、仮装等に要する費用は参加者のご負担です。参加者にはもちろん茨木童子関連グッズを進呈します。
- ◆ご留意いただきたいこと
1)参加者は、自らがイメージする「鬼」を表現した仮装・メイク等でご参加ください。創作の衣裳でなく、「いばらき童子」キャラクターのお面をつけるということでも結構です。また、拍子をとるための楽器や道具(拍子木、チャップ等)を持参いただいても結構です。ただし、周囲に危害を及ぼすおそれのあるもの、臭気を放つもの、裸火を使ったもの、動力を利用したもの、自立して歩けないもの、その他、公序良俗に反しこの企画にふさわしくないと判断されたものは、参加をお断りする場合があります。
2)小学生以下のお子様は、必ず保護者同伴でご参加ください。
3)お練りの様子は主催者により撮影し、記録写真や動画は、主催者の情報誌、ホームページ、フェイスブック等において公開される場合がありますので予めご了承ください。
4)市民会館に着替えのための部屋を用意しておりますが、仮装のままご来館いただいても結構です。
着替え部屋:市民会館3階和室1(女性)、4階和室2(男性)、11時から使用できます。
5)気象状況によっては、中止または内容を変更する場合があります。実施が危ぶまれる場合は、財団ホームページで対応を発表しますのでご確認ください。または、お電話でお問い合わせください。

「鬼の仮装写真コンクール」作品募集

「お練り」当日の仮装写真を募集しコンクールを行います。優秀作品には記念品の贈呈も。奮ってご応募ください!

- ◆応募方法 メール添付ファイルで写真を送っていただきます。①お練り当日のご自身の仮装写真1点(jpgに限る) ②氏名 ③住所 ④電話番号を、件名「鬼の仮装写真コンクール応募」として送信してください。
[送信先]ibabunzai@proof.ocn.ne.jp(茨木市文化振興財団代表) [応募期間]10月18日(土)～10月22日(水)17:00
- ◆審査 茨木市文化振興財団のフェイスブックページに、応募いただいた仮装写真を掲載し、ページを閲覧いただく不特定多数の皆様にお気に入りの写真への「いいね!」で投票していただきます。お一人で複数写真への投票も可とします。
フェイスブックアカウント名:公益財団法人茨木市文化振興財団 [投票期間]10月24日(金)～10月31日(金)9:00
- ◆発表 投票の結果は、財団のフェイスブックページ、ホームページで発表します。上位3人の方には以下のとおり記念品をお贈りします。
1位:商品券10,000円分 2位:商品券7,000円分 3位:商品券3,000円分



おに
鬼のはなしを聞き
こ
うぞよ

おに
いじわるする子に鬼が来る

おに
ばちに恐い恐い鬼が来る

おに
らんぼう者には鬼が来る

おに
鬼のはなしを聞き
こ
うぞよ

おに
きらい言う子に鬼が来る

おに
どこからとも無く鬼が来る

おに
うそをつく子に鬼が来る

おに
鬼のはなしを聞き
こ
うぞよ

おに
じぶんのこころに鬼が来る

おに
出で喰らお
出で喰らお

おに
鬼のはなしを聞き
こ
うぞよ

おに
鬼のはなしを聞き
こ
うぞよ

おに
鬼のはなしを聞き
こ
うぞよ

主催◆公益財団法人茨木市文化振興財団/追手門学院大学地域文化創造機構

制作◆サブ・アーツ(茂山千三郎事務所)

協力◆いばらき童子プロジェクト/茨木にぎわい亭/茨木阪急本通商店街振興組合/追手門学院大学学生(茨木童子地域貢献プロジェクト等)

後援◆茨木市/茨木市教育委員会/茨木商工会議所/茨木市観光協会

お問合せ:(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055/www.ibabun.jp

〒567-0888 茨木市駅前四丁目7番50号 茨木市市民会館(ユ-アイホール)1階

